

今日から試せる! PR&販促講座

～成熟市場に活路を見出す美容マーケティング～

VOL.10

いくつになっても終わらない女性の「モテ」意識
～「結婚してもモテたい!」女ゴコロに商機がある?!～

松下令子 (まつしたれいこ)

美容専門PR・販促支援会社 株式会社DSプロモーション 代表取締役
「自分が顧客だったら何を助けてもらいたいか?」をスタッフ一同の視点にして、PR・販促支援サービスを展開。美容皮膚科等とのパイプも強く、テスター設置活動など独自の販促支援事業が好評。今年度より同販売網を活用して物販事業を開始。「当連載では、販促やPRに生かすヒントとして生活者の美容意識や購買行動の視点から分析していきます。」

【株式会社DSプロモーション】 <http://www.ds-p.net/> TEL: 03-3453-8163



年末はクリスマスや忘年会、年明けは新年会等のイベントが重なるこの時期、とかく女性誌やネットをはじめとするメディアでは、「モテメイク」「愛されヘア」など「モテる」関連の企画やタイトルが踊ります。この女性の「モテ意識」、本音を探るべく調査結果から分析してみました。

弊社で20～50代の女性にアンケートをとったところ、「自分は異性からモテるほうだ」と思うか?」の質問には、「どちらかという」とモテないほうだ」の

36・1%をわずかに上回り、「どちらかという」とモテるほうだ」が36・5%と1番多い回答でした。ほとんど差はありませんが、私は意外に思ったのは匿名性ゆえの本音とはいえ、自分を「モテる」と自覚している人がかなりの割合でいるという事実です。さらには、「結婚後もモテたいか?」という質問には、「はい」と答えた人の方が多く、56・7%となっています。

理由としては様々ですが、1番多かった回答が「いくつになっても女性としての魅力は持っているという事実が自信になる」(35歳・専業主婦)というものでした。「異性にモテる」ということが「女性としてまだ通用する」として自分に魅力がある証となり自信につながるといった考え方が非常に多かったのが印象的です。

既婚者の一部には、「キレイなママ、妻でいたほうが子供や夫が喜ぶから」(45歳・会社員)というコメントもあるものの、本音の部分では「母」でも「妻」でもなく、1人の女性として魅力的に見られたい、という意識が圧倒的に多いのです。

もちろん一方で、「結婚後もモテたいと思わない」と答えた人は全体の43・3%と一定量存在することも事実で、その理由は「夫だけで十分」「面倒くさい」「必要ない」「厄介ごとを避けたい」等、様々です。

とはいえ、「自分がモテるほうだと思う」「結婚後もモテたい」と回答する女性が多いということは、現代女性は何らかの形で人間性として「女性」として魅力的に見られたい表れであるとはいえるかと思えます。つまり、異性に「モテ」、かつお付き合いを楽しまたいという行為そのものに願望があるというよりは、「モテる」という事実が自分の中の「女子度」のバロメーターとなり、日々の「張り合い」につながるこのほうが重要なのです。このモチベーションこそが女性の『美の源』であり、スキンケアやメイクをはじめとする美容や内面の自分磨き行為へと導くのでしよう。